

ハリス理化学館同志社ギャラリー第30回企画展
男女共学実施100年 社史開設60年 同志社ギャラリー開設10年

女子学生の現在地

—同志社大学のダイバーシティ 前史

入場無料

主催…同志社大学ダイバーシティ推進委員会、同志社大学同志社社史資料センター、同志社大学ダイバーシティ研究センター

協力…上智学院ダイバーシティ推進室、上智学院ソフィア・アーカイブズ、同志社女子大学史料センター

会場…ハリス理化学館同志社ギャラリー2階 企画展示室

日時…2023年10月3日(火)～11月28日(火)

休館日…祝日、月曜日(ただし11月27日は開館)



関連イベント

同志社大学男女共学実施100周年記念シンポジウム

日時…2023年10月8日(日)13時～15時30分(12時30分開場)

場所…同志社大学今出川キャンパス 良心館1階

(ZOOMウェビナーでも配信します)

お申し込みはQRコードからお願いいたします。



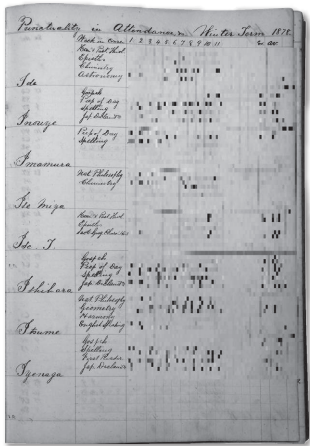
女子学生の 現在地

同志社大学の ダイバーシティ 前史

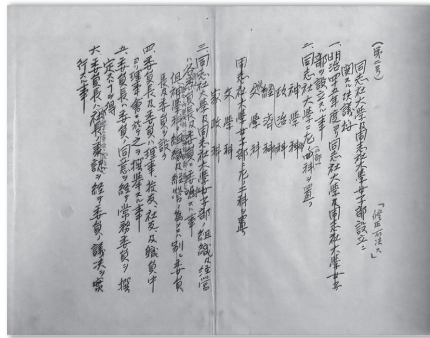
大正時代、内閣の諮問機関である臨時教育会議は、議題の一つに女子高等教育を取り上げ、答申を提示しました。その中で言及された、1913年(大正2)に女子学生を受け入れた東北帝国大学の事例が、女子高等教育の在り方の、ある意味でモデルとなり、方向性を示すことになりました。本学においても、1920年(大正9)の大学令に依る旧制大学開校以降、大学での女子学生受入を模索し、実践してきました。なかでも、1923年(大正12)に文学部英文学科本科(のちに正科ともいう)に女子学生4名が入学した事例は、現在国内で公表されている情報を精査する中では、私立大学では最初の事例となります。彼女たちの入学はちょうど100年前でした。

これを機として、本企画展では旧制大学における女子学生への高等教育の開放の過程と、その前後の史実に見られる男女共学の在り方、すなわち、本学のダイバーシティ前史を資料で辿ります。

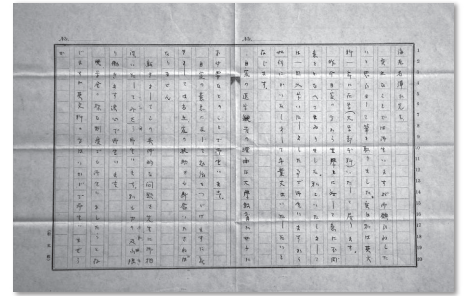
また、昨年度まで同志社大学と上智大学で共同実施した文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(調査分析)」をふまえて、教育基本法に基づき1948年(昭和23)に男女共学の新制大学として再出発した同志社大学と、1957年(昭和32)に男女共学となった上智大学の所蔵資料も展示し、東西のキリスト教系大学の事例を示して、戦後の男女共学の状況を概観します。



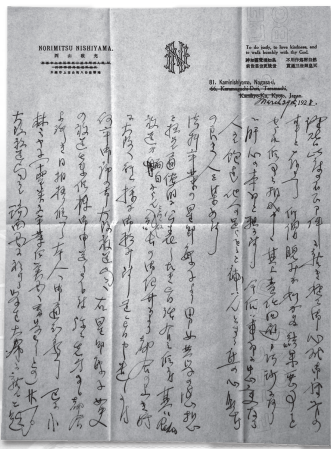
簿冊「同志社英学校成績簿」
1878年度



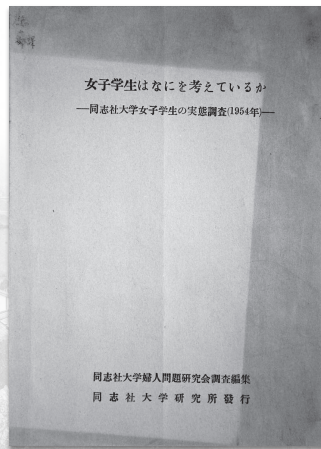
理事会資料
「(第2号)同志社大学設立ニ関スル決議按」
1911年11月24日



海老名弾正宛浅野花代書簡(在籍継続に関する相談)
1925年12月27日付



海老名弾正宛西山教充書簡(放送局への橋渡し)
1928年3月29日付



「女子学生はなにを考えているか」
—同志社大学女子学生の実態調査(1954年)—
同志社大学婦人問題研究会
1956年



写真「卒業証書を手にする上智大学国際部卒業生」
1951年
上智学院ソフィア・アーカイブズ所蔵

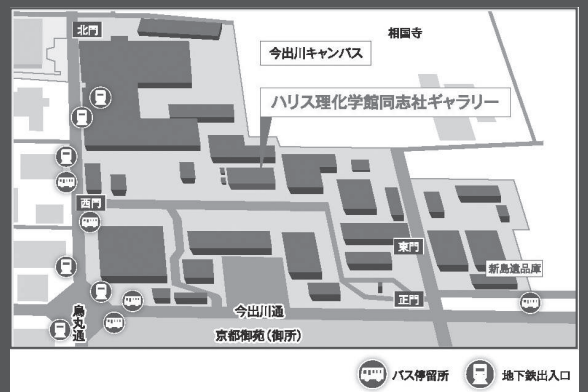
表面写真資料名

左上上段より、古写真「スタークウェザーとバイブルクラスの人々」1870年代後半、集合写真「国際連盟同志社支部」卒業アルバム「同志社大学法学部 1927年」所収、文学部英文学科集合写真 卒業アルバム「同志社大学法学部 1933年」所収
下段 授業風景 卒業アルバム「同志社大学法学部政治学科 1943年」所収

ハリス理化学館同志社ギャラリー2階企画展示室

(同志社大学今出川キャンパス)

京都市上京区今出川通烏丸東入 京都市営地下鉄今出川駅下車徒歩5分



お問い合わせ先

ハリス理化学館同志社ギャラリー事務室

Tel. 075-251-2716

同志社ギャラリーホームページ <https://harris.doshisha.ac.jp/>